

## 年表：只見町の主なできごと

年	月	日	内 容
1955年 (昭和30年)			只見村と明和村が合併し只見村となる。
1959年 (昭和34年)	6月		田子倉ダムが営業運転開始。
	8月		只見村と朝日村が合併し、只見町が誕生。
1969年 (昭和44年)			集中豪雨により布沢・蒲生集落が大被害。
1973年 (昭和48年)			越後三山只見国定公園が指定。
1992年 (平成4年)			布沢恵みの森構想で、ブナ林保護運動が始まる。
2002年 (平成14年)			ブナ林総合学術調査が開始。
2003年 (平成15年)	3月	25日	布沢恵みの森が「郷土の森」に指定。 環境省と林野庁による世界遺産検討委員会が、越後三山只見国定公園を含む19カ所を国内候補地に選定。
		31日	『福島県只見町の森林植生並びに生物多様性に関する学術調査』を只見町が刊行する。
	5月	26日	世界自然遺産検討委員会が、知床・小笠原・琉球諸島を候補地に決定し、暫定リストに掲載する。
2004年 (平成16年)	3月		只見町は市町村合併を選択しない方針を発表。
	5月	25日	『福島県只見町の森林植生並びに生物多様性に関する学術調査 第2報』を只見町が刊行する。
2005年 (平成17年)	3月	15日	『福島県只見町の森林植生並びに生物多様性に関する学術調査 第3報』を只見町が刊行する。
	7月	2日	「世界ブナ・サミット2005 in 只見」を開催。(7/2-3) <招待講演者> ■米国 デニス・ウィッガム氏 (米国・スミソニアン環境研究センター研究員) ■ドイツ マーチン・スパイアー氏 (ドイツ・ハノーバー大学助教授) ■中国 李徳銖氏 (中国科学院雲南省クンミン植物学研究所教授) ■韓国 朴宰弘氏 (慶北大学自然科学大学教授) ■マレーシア ノーディン・ハッサン氏 (国際自然保護連合生態系管理委員会委員) ■日本 北村系子氏 (森林総合研究所北海道支所主任研究員) 中静透氏 (総合地球環境学研究所教授) 河野昭一氏 (京都大学名誉教授・国際自然保護連合生態系管理委員会委員)
2006年 (平成18年)	3月		第六次只見町振興計画を策定。「ブナと生きるまち 雪と暮らすまち」
2007年 (平成19年)	4月	1日	会津地域の国有林(約20万ヘクタール)が関東森林管理局により「森林生態系保護地域」及び「緑の回廊」に指定。
	5月	17日	只見町ブナセンター推進委員会を設置。「只見町ブナセンター」が発足。
	7月	27日	只見町で「子どもブナサミット」を開催し、「自然首都・只見」を宣言。

年	月	日	内 容
2008年 (平成20年)	6月	21日	「世界ブナ・サミット2008 in 只見」を開催する。同時に「子どもブナサミット」を開催。(6/21-22) <基調講演者> 河野昭一氏(京都大学名誉教授) デニス・ウィッガム氏(米国スミソニアン環境研究センター副所長) 青木淳一氏(横浜国立大学名誉教授) 鈴木和次郎氏(森林総合研究所主任研究員)
2009年 (平成21年)	10月	3日	「ただみ・ブナと川のミュージアム」がオープン。
2010年 (平成22年)	8月	27日	「自然首都・只見 認知度向上計画」を策定。
	10月	31日	「ユネスコエコパーク講演会」を開催。 講 師：酒井暁子氏(横浜国立大学准教授)
2011年 (平成23年)	3月	11日	東日本大震災
	7月	29日	平成23年7月新潟・福島豪雨災害
	9月	20日	「平成23年7月新潟・福島豪雨災害からの復興の基本方針」を策定。
	12月	13日	第1回「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会を開催。
2012年 (平成24年)	1月		「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会が町に「自然首都・只見」ブランド確立のための提言を提出。
	5月		「只見町ユネスコエコパーク検討委員会」を設置。
	6月		「エリア設定のための専門部会」を設置。
	8月		「只見町ユネスコエコパーク検討委員会」が町にBR設定のための方針と設定案を提示。
	9月		只見ユネスコエコパーク住民説明会を開催。
	11月		「ユネスコエコパーク推進地域シンポジウム」を開催。
2013年 (平成25年)	1月		平成24年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会を開催。
	4月	19日	ユネスコ国内委員会事務局(文部科学省内)へBR申請書素案を提出。
		24日	南会津地方振興局へBR申請書素案についての説明。
		26日	檜枝岐村へBR申請書素案についての説明。
	5月	23日	只見ユネスコエコパーク関連事業推進プロジェクトチームを設置。 <目的>(構成:役場若手職員) 町が取り組むべき課題を議論し、次年度以降のユネスコエコパーク関連事業の検討・計画策定、一部実施。※12月に事業提案を行った。
	8月	16日	ユネスコ国内委員会事務局(文部科学省内)へBR申請書(修正)(和文・英文)を提出。
	9月	2日	日本ユネスコ国内委員会宛てにMAB計画(「人間と生物圏」計画の生物圏保存地域の審査書類を提出。 会津若松市役所にて審査書類提出および申請概要について只見町長が記者会見。
		4日	日本ユネスコ国内委員会第26回MAB計画分科会にて国内推薦が正式決定。
		30日	日本ユネスコ国内委員会からユネスコ本部に推薦書が提出。
	10月	25日	日本ユネスコ国内委員会第26回MAB計画分科会にて国内推薦が正式決定。 日本ユネスコ国内委員会からユネスコ本部に推薦書が提出。 国内初の日本生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)ネットワーク会議が只見町で開催。(主催:文部科学省) <会議参加者> 志賀高原BR、白山BR、大台ヶ原・大峰山BR、屋久島BR、綾BR、南アルプスBR(新規推薦地)、只見BR(新規推薦地)、外務省、農林水産省、林野庁、環境省、文部科学省、MAB計画委員会 ○25日(公開) 各BRでの取組紹介、最近のBRの動向についてなど ○26日(非公開) ユネスコエコパーク地域シンポジウム「ユネスコエコパークと地域振興」を只見町で開催。(主催:只見町)

年	月	日	内 容
2013年 (平成25年)	10月	27日	ユネスコエコパーク地域シンポジウム「ユネスコエコパークと地域振興」を只見町で開催。(主催：只見町) <b>■第1部</b> 『国際的な仕組みを取り入れ使いこなす～地域環境知とユネスコエコパーク』 講演者：佐藤哲氏 (日本ユネスコ国内委員会MAB分科会委員、ILEKプロジェクト責任者) <b>■第2部</b> 『ユネスコエコパークの活用事例』 講演者：河野耕三氏 (綾BR、宮崎県綾町役場企画財政課照葉樹林文化推進専門監) 小林広行氏 (志賀高原BR、長野県山ノ内町観光商工課課長補佐／観光商工係長) 増田功 (只見BR(新規推薦地)、只見町総務企画課企画班長) <b>■第3部</b> パネルディスカッション「ユネスコエコパークを通じた地域振興を図る」 司会：酒井暁子氏(横浜国立大学准教授、日本MAB計画委員会副委員長) パネリスト：各BR関係者
2014年 (平成26年)	3月		只見ユネスコエコパーク推進協議会準備会の開催。
	4月		生物圏保存地域国際諮問委員会が只見候補地について「条件付き承認」を勧告。
	5月		ユネスコエコ国内委員会を通じて勧告内容について回答。
	6月		第26回ユネスコMAB計画国際調整理事会において「Tadami Biosphere Reserve」の登録が決定。
	7月		第1回只見ユネスコエコパーク推進協議会の設立。只見ユネスコエコパーク支援委員会の設置。
	8月	3日	只見ユネスコエコパーク登録記念シンポジウムの開催(会場：季の郷湯ら里) ○3日 記念講演 「ユネスコエコパークと地域振興」松田裕之氏 各地報告 「ブナ林の保護・保全と活用について」 只見ユネスコエコパーク登録記念祝賀会 ○4日 エクスカーション自然観察会(観察地：只見沢)
	10月	8日	只見町ブナセンター及び吉川夏彦博士により「只見町における新種サンショウウオの発見とその保護について」会津若松記者クラブで記者会見
2015年 (平成27年)	2月		只見ユネスコエコパーク推進協議会が「只見ユネスコエコパーク管理運営計画」を策定。
	9月	10日	只見ユネスコエコパーク国際交流・貢献事業 講演会：「新安多島海生物圏保存地域(韓国)の自然と文化」 講師：洪善基氏(木浦大学校島文化研究員教授)
	10月	6日	日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)が設立。
	10月	18日	只見ユネスコエコパーク国際交流・貢献事業 講演会：「台湾原住民の伝統的・持続的な生活文化」 講師：汪大雄氏(台湾林業試験所)
	11月	14日	只見ユネスコエコパーク登録1周年記念事業-檜枝岐歌舞伎の上演。 (会場：只見小学校体育館)
	12月		只見町が「只見ユネスコエコパーク推進のための行動計画」を策定。
2016年 (平成28年)	3月	1日	只見ユネスコエコパーク展、講演会@奥会津博物館(3/1-31日)
	6月	24日	「只見町の野生動植物を保護する条例」が施行
	10月	1日	只見ユネスコエコパーク展@魚沼市小出郷図書館市民ギャラリー(3/1-30日)
2017年 (平成29年)	7月		沼ノ平総合学術調査の開始
2018年 (平成30年)	2月	19日	只見ユネスコエコパークPR展@野村総合研究所(2/19-23)
	4月	1日	只見ユネスコエコパーク活動支援補助金制度の開始
	10月	20日	全国ブナ林フォーラム-ブナ林の保護・保全と持続可能な利用を目指して 「全国ブナ林フォーラム宣言」、「自然首都・只見2018年宣言」(10/20-22)
2019年 (令和元年)	2月	24日	只見ユネスコエコパーク展(会場：柏市パレット柏)、(2/24-3/2)
	3月	1日	只見ユネスコエコパーク推進協議会が「只見ユネスコエコパーク管理運営計画」の中間見直し計画を策定。